

決算

市は、4月から翌年3月までの1年間を1区切りにした会計年度ごとに、皆さんが納めた税金など、入ったお金(歳入)とそれをどのように使うか(歳出)を決める予算を組み立て、議会の議決を受けて事業を行います。そして、年度の最後に歳入と歳出、預金や借金の状況を明らかにする決算を行い、議会の承認を受けています。今月号では、一般会計を中心にその決算の内容や財政状況をお知らせします。

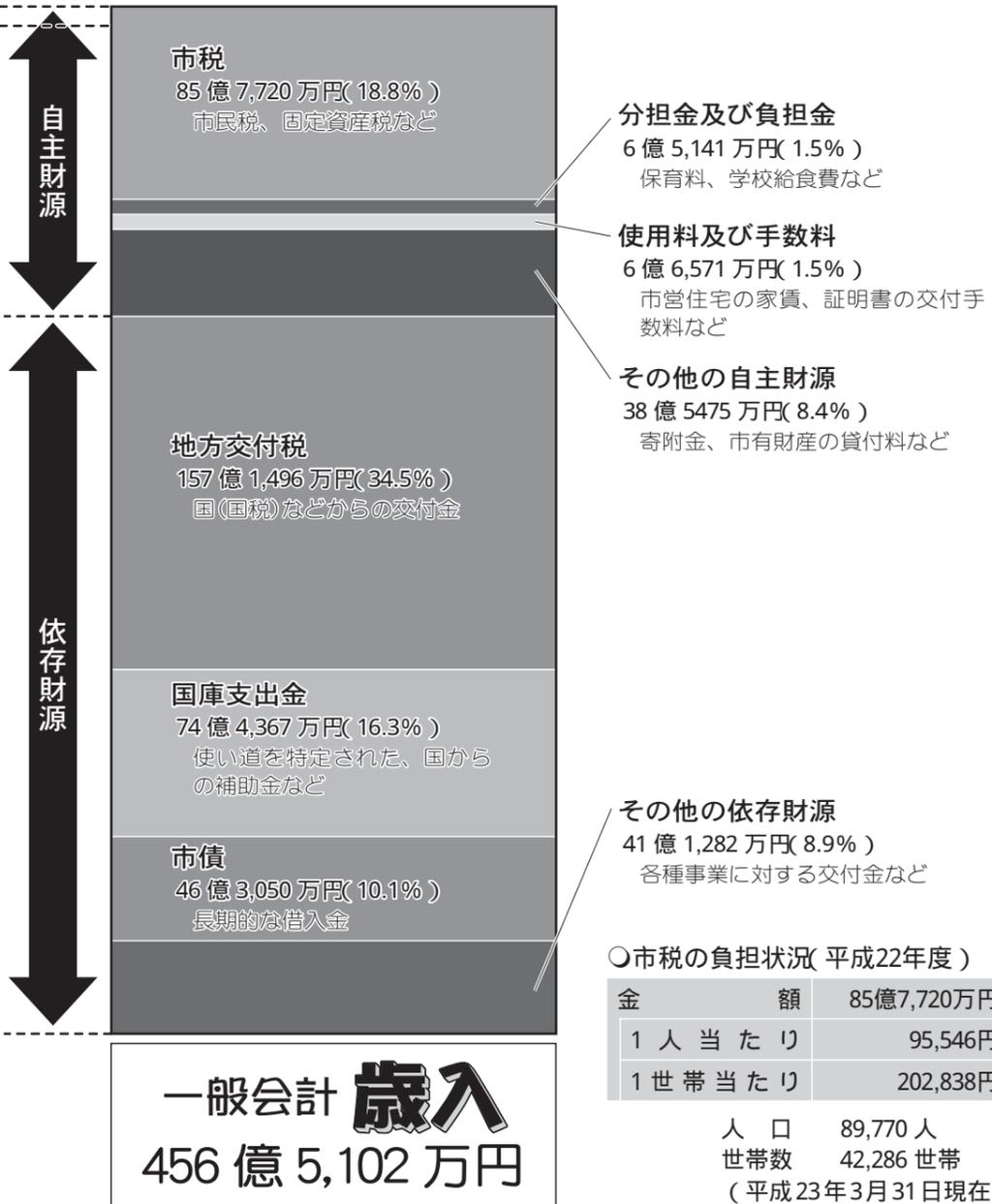
一般会計の状況

一般会計は、市の仕事を行うための基本的な経費についての会計です。

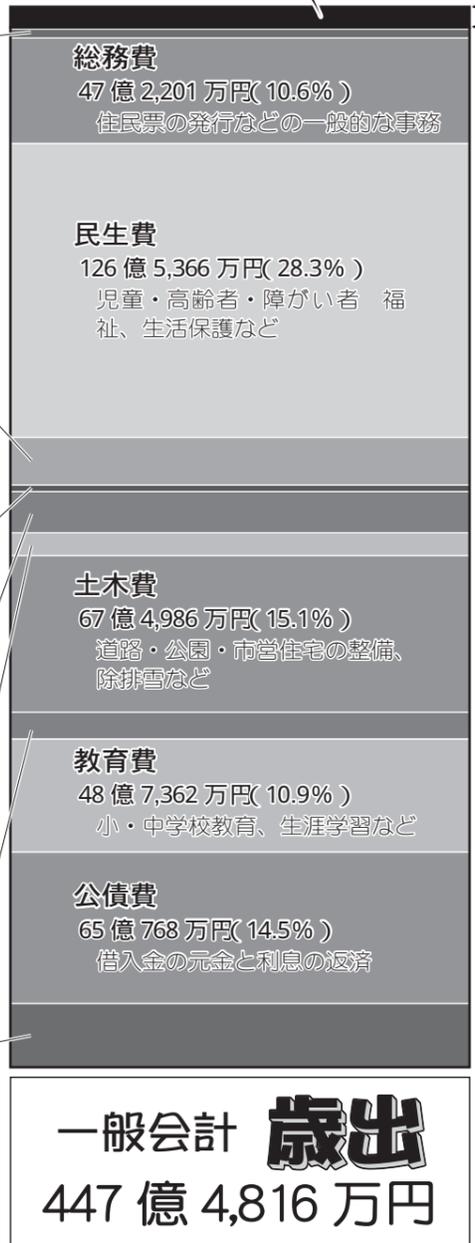
○市税の負担状況(平成22年度)

金額	85億7,720万円
1人当たり	95,546円
1世帯当たり	202,838円

人口 89,770人
世帯数 42,286世帯
(平成23年3月31日現在)



黒字 9億286万円
(翌年度へ繰り越し)



- 議会費** 2億5,952万円(0.6%)
議会の運営
- 衛生費** 20億5,939万円(4.6%)
ごみ処理、健康診断など
- 労働費** 2億8,555万円(0.6%)
雇用促進、勤労者福祉など
- 農林水産業費** 17億7,975万円(4.0%)
農業・林業・畜産の振興など
- 商工費** 9億5,925万円(2.1%)
商工業の発展、観光の振興など
- 消防費** 11億4,786万円(2.6%)
消防署の運営

市債の残高(平成22年度末)

各会計	現在高
一般会計	476億3,470万円
特別会計	13億8,239万円
公共用地等造成費	8,273万円
公設卸売市場費	1億3,425万円
高等学校費	3億3,520万円
農業集落排水事業費	3億1,466万円
駅北土地区画整理事業費	5億1,555万円
合計	490億1,709万円

市有財産の状況(平成22年度末)

区分	現在高
建物	499,385㎡
土地	27,733,658㎡
うち山林	17,066,449㎡
機械器具(車両)	227台
基金	23,788㎡
有価証券	134億8,102万円
出資による権利	4,682万円
	7億3,557万円

付税により補てんされる良質な市債の借入れに努めています。

市の貯金である基金の状況

市の貯金である財政調整基金など、23ある基金の平成22年度末残高は、134億8千102万円、前年度末の残高と比較すると、1億3千638万円増加しています。

これは、平成21年度決算における剰余金を積み立てたものなどによるものです。

なお、平成22年度は黒字決算となったため、財政調整基金は使用しませんでした。

安定した財政基盤を確立するために

日本経済の動向は、回復の兆しを見せていると言われながらも、地方経済においては、そのような実感は薄く、依然として企業収益や雇用情勢の低迷が続いています。さらに、昨年の3月に発生した東日本大震災により、極めて先行きが不透明な状況となっています。

市を取り巻く財政環境も、厳しい経済情勢が続いていることによる市税収入の減少など、歳入の確保が非常に厳しい状況が続いています。

そのような中、平成22年度の予算

執行にあたっては、「人にやさしい温かい街づくり」を着実に前進させ、福祉、医療、教育などの重点項目や優先的に対応すべき課題を見極め、市民参画型の市政・協働のまちづくりを高める効果的な事業展開をしました。

また、「行政改革大綱」、「集中改革プラン」に基づき、民間活力の導入や事務事業の効率化を進めながら、健全な財政運営に努めました。今後、厳しい財政状況が続くことが予想されますが、将来にわたって安定して持続可能な財政基盤を確立するための行財政運営を行っていきます。

平成22年度の主な事業

安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

市民参画・協働のまちづくり推進事業

市民が主体的に地域課題に取り組み、市民と行政が連携・協働した地域づくりをより一層推進するため、町会連合会への説明会の開催、全市民的な展開に向けた取り組みを実施しました。

環境対策事業

市民や事業者を対象に地球温暖化防止実行計画策定に向けて取り組む

り組む活動を支援することにより、子どもたちが自ら学び考える力や豊かな心と健やかな体の育成を図りました。

生涯学習センター整備進捗事業

空知婦人会館、勤労青少年ホーム、働く婦人の家を核とした複合施設の整備を外部アドバイザー等を活用して取り組みました。

特別支援教育推進事業

心身に障がいを持つ児童生徒および特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立と、社会参加に向けた適切な就学指導および必要な支援を行いました。

活力ある産業・経済のまちづくり

担い手・農業法人等育成支援事業
新規就農者や法人化、地場農産物を利用した加工販売など付加価値施設整備への支援を行いました。

新産業創出促進事業

情報通信関連企業、先端技術を用いた製造業やベンチャー企業など成長性の高い企業の立地、集積を促進し、新たな産業の創出に努め、雇用の拡大や地場産業の振興を図りました。

問合先 市財政課

とともに、公共施設の省エネルギー照明を導入しました。また、容器包装プラスチックの分別収集の施設整備に必要な調査を実施しました。

道路交通確保対策事業

平成23年1月の記録的な豪雪により、幹線道路や生活道路に交通障害が生じたため、運搬排雪作業を集中的に行うとともに、雪堆積場を増設し、市民生活の安全確保と地域の経済活動の停滞防止に努めました。

人にやさしい健康・福祉のまちづくり

市民健康づくり推進事業

生活習慣病の予防を重点に、健康相談や健康教室、訪問指導などを通して、市民自らの健康づくりを支援するとともに、北海道教育大学岩見沢校と連携し、健康実践活動を進めました。

母子福祉事業

母子家庭の経済的・精神的自立のため、相談事業や母子家庭自立支援給付金事業などの支援を行いました。

豊かな心を育て教育・文化のまちづくり

夢ふくらむ学びの活動支援事業
小・中学生が創意工夫のもとで取

平成22年度決算の健全化判断比率などをお知らせします

健全化判断比率

指標名	岩見沢市	早期健全化基準	財政再生基準	説明
実質赤字比率	黒字	12.06%	20%	一般会計等の赤字を市税等の財源規模と比較する割合
連結実質赤字比率	黒字	17.06%	30%	一般会計のほか、特別会計、企業会計すべての会計の赤字を市税等の財源規模と比較する割合
実質公債費比率	13.4%	25%	35%	財政規模に対する借入金の返済額およびこれに準じる額の割合
将来負担比率	45.6%	350%		一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの割合

岩見沢市はいずれの指標も基準を下回っています。早期健全化基準を上回った場合は自治体で計画を立てて自主的に、財政再生基準を上回った場合は国などの関与の下で、それぞれ財政再建することとなります

資金不足比率(特別会計、企業会計)

指標名	会計名と割合	経営健全化基準	説明
資金不足比率	資金不足を生じている会計はありません	20%	国民健康保険費、老人保健費、介護保険費、後期高齢者医療費を除く特別会計と企業会計の資金不足を料金収入の規模と比較する割合

特別会計

特定の収入があり、目的ごとに使い道をはっきりさせるための会計

各特別会計	収入	支出	差引
国民健康保険費	100億714万円	102億7,644万円	2億6,930万円
と畜場費	1億7,808万円	1億6,499万円	1,309万円
公共用地等造成費	5,498万円	2億894万円	1億5,396万円
公設卸売市場費	6,850万円	6,817万円	33万円
高等学校費	5億5,890万円	5億5,809万円	81万円
企業用地造成費	5,728万円	3億4,599万円	2億8,871万円
老人保健費	1,263万円	1,263万円	0円
農業集落排水事業費	8,320万円	8,256万円	64万円
介護保険費	64億7,664万円	62億8,489万円	1億9,175万円
駅北土地区画整理事業費	8,371万円	1億535万円	2,164万円
後期高齢者医療費	11億77万円	11億8万円	69万円
合計	186億8,183万円	192億813万円	5億2,630万円

企業会計

水道や病院など、民間企業と同じように、料金などの収益で運営する会計

収益的とは...年度内の経営活動の収入と、それに対応するすべての費用
資本的とは...将来の経営活動に備えて行う、施設の整備などの費用とその財源収入

各企業会計	収入	支出	差引	
病院事業	収益的	110億9,140万円	107億5,611万円	3億3,529万円
	資本的	4億8,917万円	12億1,840万円	7億2,923万円
水道事業	収益的	16億3,555万円	13億8,110万円	2億5,445万円
	資本的	4億7,212万円	11億2,404万円	6億5,192万円
下水道事業	収益的	21億6,946万円	16億1,481万円	5億5,465万円
	資本的	8億9,830万円	18億6,974万円	9億7,144万円

資本的収支の赤字分については、当年度純利益などで補てんしました。

【病院事業】

●市立総合病院	
入院1日平均	451人
外来1日平均	1,085人
●市立栗沢病院	
入院1日平均	71人
外来1日平均	78人

【水道事業】

給水戸数	44,422戸
給水人口	89,829人
総配水量	10,068,878 m ³
1日平均配水量	27,586 m ³

【下水道事業】

処理区域面積	2,358 ha
普及率	85.5%
水洗化率	98.0%
処理水量	11,365,552 m ³